様式1

平成29年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	総合体育館、地区体育館（10施設）、トレーニングセンター
所在地	豊橋市神野新田町字メノ割1－3（総合体育館）ほか
指定管理者	公益財団法人豊橋市体育協会
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
担当課	文化・スポーツ部「スポーツのまち」づくり課（0532-51-2866）
平成28年度指定管理料（決算）	137，857千円
平成29年度指定管理料（決算見込）	136，631千円

項目		基準	評価
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	施設の点検、修繕を適切に実施するなど、仕様書等に基づき適正に行われている。
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	事業計画書の目的に沿った年齢に応じたスポーツ教室等の自主事業が実施されている。
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	仕様書等のとおり適正な人員配置がされており、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	毎月１回、連絡事項、苦情などに対する対応など、職員等への方針の徹底を図っている。
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	利用者の個人情報を記録した書類等は施錠できる書庫に保管し、職員には安全管理教育を徹底して、適正に個人情報を管理している。
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	緊急連絡網、警報発令時の対応マニュアルが作成されており、各施設ごとの消防訓練やＡＥＤ講習が実施され、十分な取組がなされている。
施設利	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	利用者の決定は、公平性を確保して適正に行われている。
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数・施設稼動率についてはどうなっているか。（利用状況を数値化して平成28・29年度を比較）	

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較(H29-H28)
開館日数	308日	308日	308日	0日
利用者数				
a. 総合体育館	189,079人	241,289人	201,148人	▲ 40,141人
b. 前田南地区体育館	42,219人	39,344人	39,190人	▲ 154人
c. 新栄地区体育館	31,001人	33,038人	31,686人	▲ 1,352人
d. 牛川地区体育館	36,946人	38,879人	39,968人	1,089人
e. 草間地区体育館	38,517人	43,198人	43,010人	▲ 188人
f. 飯村地区体育館	42,546人	42,959人	42,545人	▲ 414人
g. 下五井地区体育館	34,644人	34,362人	38,140人	3,778人
h. 浜道地区体育館	35,806人	38,034人	39,556人	1,522人
i. 二川地区体育館	29,798人	35,389人	36,555人	1,166人
j. 石巻地区体育館	34,652人	35,116人	32,688人	▲ 2,428人
k. 大清水地区体育館	44,362人	53,307人	50,012人	▲ 3,295人
l. トレーニングセンター	33,890人	35,449人	24,072人	▲ 11,377人
計	593,460人	670,364人	618,570人	▲ 51,794人

様式1

用状況に関する事項			【要因分析】 総合体育館については「ものづくり博」や「大相撲豊橋場所」が開催されなかったため利用人数が減った。トレーニングセンターは浄化槽設置工事により利用制限したため利用人数が減った。
	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	Vプレミアリーグに在籍するバレーボール選手・元全日本監督を招いて指導会やバレーボール教室を開催したほか、健康づくりとしてメタボ予防のための健康増進教室の開催、東三河ジュニアスポーツ勉強会を開催し、指導者向けのイベントなど目新しいメニューを組み込み施設紹介を兼ねたPRに努めた。
	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査（アンケート）等を実施し、業務改善を実施しているか。（アンケート結果を数値化して回答）	利用者アンケート 利用申請：とても便利・便利50.0%、どちらともいえない30.6%、不便・非常に不便2.8% 施設利用：とても利用しやすい・まずまず利用しやすい76.3%、どちらともいえない16.7%、やや利用しづらい・非常に利用しづらい4.2% 職員対応：とてもよい・よい79.2%、どちらともいえない13.9%、 ・アンケート結果を分析すると、利用者の満足度は概ね高いものと考えられるが、満足度をより高める取り組みが必要である。
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容：草間地区体育館；駐車場が狭い 対応：対応するのは現在のところ困難。 内容：牛川地区体育館；施設、設備が古い 対応：対応するのは現在のところ困難。
	苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適切かつ迅速に行われている。
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理されている。
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	収支計画書どおりの収支状況となっており、コスト削減にも努めている。
		収支計算書	

収入の部			支出の部	
指定管理料	136,631千円		指定管理事業費	184,838千円
利用料金収入	42,700千円			
自主事業収入				
その他収入	5,507千円			
			収支差額	0千円

指定管理者の自己評価	施設の貸出について公平・公正に受付した。 環境負荷の低減のためT-EMSに準じた維持管理業務を行った。 施設利用者の安全確保は毎日始業時に点検を行っている。 自主事業は施設を十分活用したスポーツ教室を開催し、多くの市民が参加することで豊橋市のスポーツ振興を図った。

総合評価	施設の老朽化が進む中、施設の点検、修繕を優先度をつけて適切に実施し、施設利用者は安全　・安心のなかスポーツに取組むことができた。 自主事業として、Vプレミアリーグに在籍するバレーボール選手・元全日本監督を招いての指導会やバレーボール教室を開催するなど、選手のみならず、指導者向けの教室を開催し、市民のスポーツへの関心を高めることができた。 また、空手道やバドミントンなどのスポーツ教室や健康づくりのためのスポーツ教室など開催し新たにスポーツに取組む事業を展開しスポーツのまちづくりに努めた。 引き続き、施設の特性を活かした自主事業を展開するとともに、老朽化する施設の清掃や修繕を適切に実施して利用満足度の高い施設運営に努めること。また、アンケートの回収数が少ないので、目的をはっきりさせたアンケートとし、回収数を増やすとともに、その結果を活用すること。